# 日高の野菜・花き生育情報

新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町 《10月中旬~11月上旬》

令和5年10月15日発行 第6号

日高農業改良普及センター本所

Tel: 0146-42-1489 Fax: 0146-42-2521

### 【作物共通】

- ①無加温施設は、夕方以降の外気温の急激な低下に備え、夜間の保温を図りましょう。換気窓を閉めたハウ ス内は湿度が高まり病害が発生しやすい状態となります。曇天日でも換気窓の開閉幅を調整しながら積 極的に換気を行い、多湿状態の緩和に努め、温風機送風ファンや循環扇を活用しましょう。
- ②栽培を終えたハウスでは、翌年の病害虫の発生源となる作物残さを必ず搬出し、被覆資材を冬期間除去 して翌年の発生を抑制しましょう。被覆資材を除去しない場合はハウス内を除草し、病害虫の寄生を防ぎ ましょう。また、越冬緑肥の導入等を検討しましょう。
- ③土壌診断に基づいた土壌改良資材の施用、心土破砕等による土壌物理性の改善等の総合的な土壌管理 を進めましょう。
- ④加温施設では、施設内の保温性を高めて、無駄のない施設管理を行いましょう。
- ⑤大雨や強風が予想される時は、防風網の点検、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排 水溝を掘り下げるなど防災環境を整えましょう。

【野菜】			
作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫•生理障害等	
ピーマン 無加温半促成 品種:みおぎ	<ul> <li>生育は終盤となっていますが概ね順調に進んでいます。</li> <li>作業は収穫作業が行われています。</li> <li>夜温が下がってきているため、ハウス側窓の開閉は適切に行いましょう。</li> <li>栽培終了時の片付けをする際は、根の状況を確認できる唯一の機会です。特に草丈が低いような株ではネコブセンチュウ類による被害などがないか確認しましょう</li> </ul>	<ul><li>・灰色かび病、斑点病は前年より 少ない傾向です。</li><li>・オオタバコガの発生は収まって いますが、一部でホコリダニ類 の被害が見られています。</li></ul>	
	ᄷᅔᅛᄪᄼᄣᆖᄜᅑᅟᅕᆉᅥᇫᆽᄗᄱᄼ	【ホコリダニ被害果】 ・病害虫の被害残さは次年に持ち 越さないよう、ほ場に持ち出し 適切に処理しましょう。	
ミニトマト 7月定植 品種:キャロル10	<ul> <li>生育は概ね順調で、主枝4~5段目が 着色中です。</li> <li>作業は収穫、病害虫防除が行われています。</li> <li>夏期の高温により花飛びが発生した株では、花飛び後の花房で花数の増加が見られます。収穫に向け、必要に応じて摘果やエスレル処理を行いましょう。</li> </ul>	・夏期の高温による花飛び・着果不良が散見されます。	
		【花飛び・着果不良】	

いちご			
夏秋どり			
(高設栽培)			
品種:すずあかね			

- ・株疲れから回復傾向ですが、気温の低 下に伴い、生育は緩慢です。
- 9月までの株疲れ、気温の低下に伴い、出荷量は減少しています。
- ・作業は収穫、摘葉、摘花、ランナー除去、収穫後の果房除去などの株管理が 行われています。
- ・夜温が 10℃を下回る日が続いています。内張カーテンや温湯ボイラーによる保温・加温を実施しましょう。
- ・培地内温度は 12℃以上を確保しましょう。

- 一部は場で灰色かび病、アザミウマ類、ハダニ類が見られます。
- ・内張カーテンによる保温で、湿度が上昇し、灰色かび病の発生が懸念されます。早めの薬剤散布を徹底しましょう。



【果実の灰色かび病】

### 【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫•生理障害等	
デルフィニウム ハウス作型	・8月の高温の影響で切り花長が短く、 採花の前倒し傾向が見られています。 ・ビニールの破損が無いか点検・補修を 行い、冬季の保温の効率を高めましょ う。 ・ハウス周辺の暗きょや明きょの確認・ 整備など、冬季の排水対策を検討しま しょう。	<ul><li>ケラ、コオロギ、バッタ等の発生が多い傾向です。</li><li>うどんこ病、灰色かび病は前年より少ないですが、発生が見られている場合は初期防除を徹底しましょう。</li><li>【うどんこ病】</li></ul>	

## ★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★